

会 議 録

会議名 (審議会等名)	令和5年度第3回小金井市廃棄物減量等推進審議会		
事務局 (担当課)	小金井市ごみ対策課		
開催日時	令和5年10月31日(火)		
開催場所	小金井市役所第2庁舎801会議室		
出席者	委員	<出席者：10名> 渡辺会長・岡山委員・溝入委員・岸野委員・土屋委員・林委員・齋藤委員・清家委員・石原委員・續木委員 <欠席者：3名> 大関委員・黒須委員・堀越委員	
	事務局	今井ごみ対策課長・鈴木ごみ処理施設担当課長・立崎減量推進係長・高田清掃係長・高橋施設係長・高花	
傍聴者の可否	可	傍聴者数	0
会議次第	1 開 会 2 報 告 3 議 題 (1) 令和6年度小金井市一般廃棄物処理計画の策定について(諮問) (2) プラスチック資源循環促進法に係る対応について 4 その他		
会議結果	別紙審議経過のとおり		
提出資料	別添のとおり		
その他			

(審議過程) 主な発言等

渡辺会長	これより令和5年度第3回小金井市廃棄物減量等推進審議会を開催する。
立崎減量推進係長	(配付資料確認) (会議録確認) (「意見・提案シート」について説明)
今井ごみ対策課長	<p>本意見提案シートに係る見解とすると、従前から変更はなく、スペースはもちろん整備するところもないため、引き続き民間事業者の活動の中で支えていただくような取組を模索している。</p> <p>そのような中、「おいくら」というWEBサービスを運営する株式会社マーケットエンタープライズから「ごみの発生抑制、リユース活動に連携して取り組むことについて市に呼び掛けがあり、市民の皆様にご活用いただきやすくするため、連携協定の締結に向けた準備を進めている。</p> <p>同サービスは、家庭で不用になった再利用可能なものを「おいくら」に登録して申し込むだけで、「おいくら」に登録している複数のリユースショップから一括査定を受けることができ、買取価格を比較して売却することができるというものである。本や食器といった小型品から、自分では運べないような大型品のほか、家電リサイクル法対象品である冷蔵庫やテレビなども査定対象となり、出張査定や家から運び出しをしてくれる店舗もある。</p> <p>市としては、粗大ごみの申請をされる前に「おいくら」を検討していただくことも促せるような、周知や案内をしていきたいと考えている。</p> <p>このことにより、リサイクル事業所で行われていた不用品の引き取りに類似するサービスがWEB上で展開できるものと考えている。</p>
林委員	<p>この意見・提案シートの中で言われているのは、常設のリサイクル販売拠点ということである。</p> <p>買取査定というと、よくチラシが入っていたりすることがあるが、家に上げて査定してもらおうということにはとても抵抗感がある。</p>

(審議過程) 主な発言等

今井ごみ対策課長	「おいくら」は、買取り査定の予約申請をするサイトになる。「おいくら」という古物商がいるわけではなく、そこに登録している近隣の事業者が、出張査定の申し出をしたお宅に伺う。あくまでも、市民の側が不用品の買い取りを希望したときに、「おいくら」というサイトを通じて、申込みをしていただく。
林委員	市民はどのように申し込むのか。
今井ごみ対策課長	ご自身で「おいくら」に査定依頼をしていただくことになる。小金井市の場合は繁忙期になると粗大ごみの回収に2～3週間かかり、お待ちいただくこともあるが、「おいくら」を使っただけであれば、最短即日で買取り査定の上で持ち帰ってもらうことができる。そのため、市民の利便性の向上、並びに発生抑制、また、リユース展開、リサイクル展開にもつながっていくものと考えている。
石原委員	買取りも含めて様々なサイトはあるが、リサイクル事業所の良かった点は、現物を直接見ることができるということだと思うし、おそらく提案シートを出された方もそう思われているだろう。全てをWEB上でやるのがよいかどうかということについては、考える必要があるのではないかと。 粗大ごみの費用や売り上げのことと、全てをWEB上で行うということは別のこととして考えたほうがよい。WEBでできる人とできない人がいると思うので、もし様々なことで不便だったら、違う形も考えておいたほうがよいのではないかと。
林委員	査定を頼んでもほとんどゼロ査定になるだろうし、そういうものを、わざわざ市民が自らやるのかは疑問である。 それに、今の回答では少し論点がずれているように思う。この意見は以前も出ていて、そのときの意見に対する対応の一つがジモティーだった。ジモティーを始めても、また意見・提案シートが提出されており、この件は終わらない気がする。
渡辺会長	リサイクル事業所を設置する場所がないということだろう。

(審議過程) 主な発言等

岸野委員	無料引取りのチラシを見て申し込んだことがあるが、回収されていた。市の粗大ごみとして廃棄すると、最低でも200円の手数料がかかるが、こちらは無料なので悪くはない。
溝入委員	意見・提案シートは審議会宛てになっているが、回答はどこの名前で出すのか。 事務局が答えるのであれば「おいくら」を考えているということの良いのであろうが、審議会として出すのであれば、それでは答えにならない気がする。
事務局	意見・提案シート導入の際に審議していただいたが、「審議委員に意見・提案シートを配布するとともに、審議会冒頭で内容を確認し、必要に応じて審議の資料とする」ということで承認されている。
渡辺会長	大型品や家具等などは、リサイクル事業所があった頃に比べると、やはり実績的には落ちている。場所の制約などもあるので、それらを考えながら、今後も検討していかなければならないということではないか。
岡山副会長	場所が限られているというが、この資料を見ると、やはりかつての量と比べると、取引されたものが物とても減っているのはなぜか。
渡辺会長	アクセスもあるだろうし、やはりジモティーで取引をするのと、実物を見て引き取るのとでは、かなり違うということになるのではないか。
今井ごみ対策課長	リサイクル事業所の販売形態、販売実績については、市側で計量、計数したものではなく、あくまでも「主張されている」と受け止めざるを得ない状況にある。 ジモティーとよく比べられるが、ジモティーのほうは市が計量し、全ての件数をカウントしているため、行政として間違いなくリユースに回したものであるといえる。 レシートがあつたり、POSシステムがあつたりという明確な形で報告をされているのであれば別だが、そうではなく、あ

(審議過程) 主な発言等

岡山副会長	<p>くまでシルバー人材センターの事業として運営されていた成果をシルバー人材センターではない方が言われている。</p>
溝入委員	<p>行政が集めてきた粗大ごみを、全部までとはいかなくともシルバー人材センターが修繕して売っていたので、件数は絶対的に多くはなる。</p> <p>ゼロが変わるほどの差はないであろうから、この数字について多い、少ないといった議論をしても仕方がない。</p> <p>現状でジモティーはどのぐらいの実績になるのか。「おいくら」に代わるとどの程度効果があると想定しているのか。</p>
今井ごみ対策課長	<p>ジモティーの実績としては、前年度の半年間で約90件、トン数にして1.1トンである。</p> <p>ジモティーを「おいくら」に替えるのではなく、並行して実施する。「おいくら」をご利用いただく方が出た場合は、粗大ごみの回収自体が減るものと考えている。</p> <p>どの程度減るかという辺りについては、伸びる紹介の仕方と、伸びが鈍化するような紹介の仕方があると事業者側から聞いており、そういったことも含め話を詰めていきたい。</p>
事務局	<p>どのぐらいの実績になるかという想定はしていないが、既に導入している都内の自治体に確認したところ、住民が直接「おいくら」に申し込んでいるため、何件減ったのかという把握はできていないものの、「おいくら」からの定期報告では年に300～400件の申し込みがあり、実際には200件程度が成立しているだろうということだった。</p>
林委員	<p>株式会社マーケットエンタープライズというのは、サイトの運営会社なのか。</p>
石原委員	<p>リサイクル事業所のようなものは各市ずっとやってきたが、半分ぐらいやめている。人件費の問題などがあると思うが、そうすると買取り業者がたくさん出てきている。その辺を市がやらずに民間に全て任せるのが良いかどうかというのはあるかもしれない。</p>

(審議過程) 主な発言等

岡山副会長	<p>以前は、粗大ごみで出していたものから、シルバー人材センターが売れそうだったものを修繕して販売していた。</p> <p>それと比較すると、「おいくら」を導入したら、引き取れないものも出てくるはずだから、最終的にごみになるものが増えるのではないか。そうであれば、少し考えなければならない。</p> <p>「おいくら」での取引で不成立になるものは、処分が有償になるものことだと思う。捨てる側は、粗大ごみに出すほうが安いのか、「おいくら」、その他のところで有料で引き取ってもらうのが安いかで考えた結果、粗大ごみに出すのだろう。</p>
渡辺会長	<p>やってみることは悪くはないと思うが、提案されているように、それで代替できるかという、そうではないだろうと思う。</p>
岡山副会長	<p>粗大ごみが燃やすごみになってしまって、結果的にごみが増えるというのはちょっといかがなものか。</p>
事務局	<p>誤解されているようだが、「おいくら」は買取価格の査定をするだけであり、「有償で処分する」というものではない。</p> <p>例えば粗大ごみを査定した結果0円であれば、粗大ごみに申し込んで処分することになると考えている。</p>
渡辺会長	<p>リサイクル事業所をやめる際に、新庁舎が建ったときに販売コーナーを設けるような話も出ていたかとは思いますが、その辺はいかがか。</p>
今井ごみ対策課長	<p>まだ、新庁舎建設事業を再開したという市民説明会が開催されている状況であり、行政内部でも説明できる状況に至っていない。ただ、現行の設計案で進めるという話は聞いているため、今後検討していく余地が残っているのではないかと考えている。</p> <p>スペースについては、常設型ではなくイベント時などに使うものとして認識している。常設型にしていくと、結局は保管場所が問題になる。すぐ引取り手が見つかるものではない。現状のジモティーも同様で、かなり成約率は高く8割から9割の品を引き渡せている状況だが、それでもやはり滞れば保管場所に</p>

(審議過程) 主な発言等

	<p>苦慮している。</p> <p>一方、民間のリサイクルショップなどでは、配送拠点や倉庫を確保するなど保管できる方策を確保している。民間事業者の方が柔軟性があり、また、幅広いノウハウを持っている。行政の中で際限なくストックが管理できるようなものを設けていくということは、行政に求められることとしては違ってきていると思う。新庁舎が整備された際に、イベントなどで活用できるスペースについては考えていく必要があるとは思っているものの、常に商品が陳列されているようなところを運営していくのは難しいと考えている。</p>
渡辺会長	<p>修理作業を担ってきたシルバー人センターとしては、結構やりがいのある仕事で収入にもなるし、続けたいといった話が出ているのではないか。</p>
今井ごみ対策課長	<p>議会におけるやり取りに基づいて私が確認している中では、シルバー人材センター側から市に対しリサイクル事業から撤退したいという申入れがあったというふうに認識している。</p>
渡辺会長	<p>他に意見がなければ次に入る。</p>
立崎減量推進係長	<p>(「報告事項」について説明)</p>
林委員	<p>収集車の発火について、パソコンのバッテリーが原因ということだったが、パソコンのバッテリーは収集しているのか。</p>
今井ごみ対策課長	<p>不燃ごみとして出された方がいて、パッカー車に収集袋を積んで巻き込んだときに発火した。発火した場所が荷台に入る前の回転盤のところだったため、延焼せずに消火できた。</p> <p>パソコンは市で回収できないため、本体が入っていれば収集員はすぐに気づくはずだが、バッテリーだけだと難しい。</p> <p>小金井市のベールを再商品化工場のほうに運び込んだ際に、発火事故を起こしたという報告を、本年4月から9月までの間で9件も受けている。月1回以上となるため、再商品化工場より啓発と徹底防止についての通知を受けてしまった。喫緊の重要課題として認識して、注意喚起、啓発にこれから市としても</p>

(審議過程) 主な発言等

渡辺会長	取り組んでいかなければならないと考えている。
今井ごみ対策課長	選別工程を経ている交じっているのか。
岡山副会長	委託業務の中で、手選別をしている従業員の方々にも、見つけた際に報償金を差し上げるようなこともしていただいている。そういった人的な奨励を施すための制度を作ったり、手選別の徹底をお願いしたりしている中であっても、どうしても残ってきている。
鈴木ごみ処理施設担当課長	もともとプラスチック製容器包装しか集めないという自治体であれば、選別工場でもそれ以外のものを見つけることはそんなに難しくないが、小金井市の場合は、プラスチック製品を一括して集めているため、漏れは絶対に出てしまう。
鈴木ごみ処理施設担当課長	(「報告事項」について説明)
渡辺会長	「メタウォーターサステナブルパークこがねい」には、市民が立ち入れる公開空地のようなものはできるのか。
鈴木ごみ処理施設担当課長	見学等、随時、お受けするような形で運営していきたいと考えている。
渡辺会長	3市市民会議の委員に関しては、年度末に新たに3名選ぶという形になるのか。
事務局	3市市民会議の委員は、委嘱機関が年度末までになっており、次の委嘱開始は、次期審議会委員決定後の7月からとなる。
渡辺会長	現状では、審議会委員としての市民公募に際し、3市ごみ減量推進市民会議の委員も兼ねていただくことになる旨を募集要領に記載している。3市ごみ減量推進市民会議からいただいた提案なども、施策への反映に努めるというところが3市の負っている責務の一つに当たることから、施策をご検討いただく審議会委員の方に兼任していただいているほうが、情報共有や

(審議過程) 主な発言等

渡辺会長	検討協議の部分について有為であると考えている。
鈴木ごみ処理施設担当課長	可燃ごみ処理施設の水銀混入についてだが、事業系由来の可能性もあり得るのかと思う。
渡辺会長	事業系の可能性も考え、前回、水銀が混入した際に各市で協議し、医師会、歯科医師会、薬剤師会をはじめとして、市内6団体に対して個別に周知の文書を送らせていただいたが、それでも再発してしまった。引き続き啓発に努めていく。
立崎減量推進係長	意見・質問はないようなので議題に入る。
今井ごみ対策課長	本日の審議会では、「令和6年度一般廃棄物処理計画」についての諮問を受けることになっている。後ほど事務局から説明があるが、まず始めに諮問を受ける。
渡辺会長	本来ならば市長からお渡ししなければならないが、公務の関係で代理として今井ごみ対策課長より諮問書をお渡しする。
今井ごみ対策課長	(諮問書受け渡し)
渡辺会長	それでは、事務局に説明を求める。
今井ごみ対策課長	令和元年度末に新型コロナウイルス感染症の確認が発表されて以降、廃棄物行政も多大な影響を受けてきた。 令和5年5月8日に「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」における新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類感染症となったことを受け、社会活動が再開されたものの、全てがコロナ禍以前の状況に戻るわけではない。 さらに、令和4年4月からはプラスチックの資源循環を総合的に推進するため、「プラスチック資源循環促進法」が施行されたことを受け、新たな仕組みを構築する必要に迫られている。 これらのことを踏まえながら、基本計画に基づき発生抑制を最優先にした3Rに取り組み、最大限のごみ減量を目指して、改めて令和6年度処理計画を策定したいと考えている。 引き続き減量推進係長より御説明させていただく。

(審議過程) 主な発言等

立崎減量推進係長	(「令和6年度一般廃棄物処理計画(案)」について説明)
渡辺会長	9ページの表に、従来は計画の前年度の上半期のデータなどもあったかと思うが、今回入っていないというのは、計画において令和5年度の実績値は見ないということか。
事務局	もともと当該年度実績値の記載はしておらず、前年度実績値、次年度を推計した計画値、令和12年度の目標値を記載していた。しかし、コロナ禍でごみ量の推計が難しくなったことから、当該年度の実績値と前年度の実績値の合計を計画値とし、説明文にもそのように記載していた。今回、令和4年度の家系系ごみ量がコロナ禍以前にまで減っていることから、単純に直近1年間の実績を計画値とするのではなく、コロナ禍以前のように減量を前提にした推計を行うべきではないかと考え、現時点では未記載としている。
渡辺会長	令和6年の計画値を求めるに当たり様々なことを勘案するということは、確かにそのとおりだと思うが、9ページの表に令和5年度の数値を全く出さないのはいかがか。
今井ごみ対策課長	コロナ禍の間、計画値には直近1年の実績値を載せていただけだったが、社会経済活動も制約が解けてきており、令和4年度の実績値を見ると、家庭系一般廃棄物については順調に減少が続いている。そういった状況を見ながら、直近1年の数字をそのまま使用するのではなく、しっかり計画値を定めたいと思っている。また数値を示した際に、市の考え方などもお伝えさせていただくので、改めてご意見をいただくような形で整理させていただきたい。
溝入委員	同じ方式で推計を出して、注釈を入れるだけでよいのではないかと。そうしておいたほうが、連続性は保たれる。
渡辺会長	その状況が今まではコロナ禍であったのに対して、平常に戻ったので、以前どおりの計画方法でやろうというのがもう1つの案ではある。

(審議過程) 主な発言等

今井ごみ対策課長	実際に目標値を令和4年実績値でクリアしているところもあるので、考え方はきちんと整理しなければならない。このタイミングで整理するのがよいのか、基本計画の改定に合わせてやるのがよいのかを考えるとところではある。
渡辺会長	新施設に関して、稼働は令和7年度の予定のはずだが、令和6年度の計画にも一応入れておくのか。
今井ごみ対策課長	冒頭「はじめに」にも書かせていただいているが、令和7年2月には施設が立ち上がり試験運転を始めて、3月下旬ぐらいから本格稼働となる。令和6年度の末にはなるが動きがあることから記載している。
渡辺会長	10ページの生ごみ資源化対策に関しては、話がまとまったところで年度の活動目標が入るということでよいか。
岡山副会長	同様に、20ページの(3)のおむつもについても、次回以降に文言が記載されると考えてよいか。
今井ごみ対策課長	おむつに関しては、ごみ対策課としても子育て支援施策として考えなければならないので庁内検討を進めているが、廃棄物行政の施策として載せるべきなのかどうか決めかねている。 どちらにしても、何らかの取組を進める際には委員の皆様には報告をさせていただこうと考えている。
林委員	7ページと11ページに記載している「重点」について言い回しがわかりにくい。「重点」と位置付けた項目以外にも、様々な取組を行っているから、それを書くべきである。
今井ごみ対策課長	今回は全体の構成を変えているので、しっかりと整理していきたい。7ページから8ページの表では、件数や数量のように定量的に評価できるものにしており、そこについても次回以降に表現できるようにしていきたい。
立崎減量推進係長	(「プラスチック資源循環促進法に係る対応について」) 説明

(審議過程) 主な発言等

今井ごみ対策課長	<p>本資料については第2回まででお示したものとあまり変わらないが、実施時期が7年2月上旬の試運転に合わせて行うというところをまずご確認いただきたい。また、(公財)日本容器包装リサイクル協会への委託費用と資源物処理施設での委託の処理費用の合算にとどめさせていただくが、処理費用をご確認いただきたい。プラスチック資源循環促進法32条開始後は、費用が大きく増額していく流れになるが、現在、予算を要求している段階であり、このとおりに進むかどうかは不確定であるものの、要望していきたいと考えている。</p> <p>最後のごみ・リサイクルカレンダーの変更イメージについては、プラスチックの収集内容を変えずに再商品化に努めていくに当たり、100%プラスチック製品をしっかりと集めたいと考えて作成したイメージ図となる。</p>
渡辺会長	<p>4の中間処理について、見直し後の欄で「容リプラと製品プラとそれ以外の残渣」と書いてある。このまま公開すると3つに分けるように誤解を与えてしまうので、公開に際しては「容リプラ・製品プラ」としてほうがよい。</p> <p>それにしても、費用がかかるのがよくわかる。</p>
林委員	<p>現状で比較すると、焼却処理であれば、これだけ安価に済むのだということがわかる。</p>
今井ごみ対策課長	<p>処理費用だけで見れば安価だが、今回比較に入っていない選別処理が別途かかっている。</p>
渡辺会長	<p>その他、事務局から何かあるか。</p>
今井ごみ対策課長	<p>寝具等の再生素材化によるリサイクル率向上に係る取組について報告をさせていただく。</p> <p>令和5年9月に、東京都産業労働局が進める「多摩イノベーションエコシステム促進事業」のリーディングプロジェクトに係るヒアリングを受けたことを契機として、寝具等の再生素材化によるサーキュラーエコノミーの実現に向けた検証の実証実験への参加・協力について検討を進めてきた。</p> <p>現在、寝具等は市が粗大ごみとして回収し、浅川清流環境組</p>

(審議過程) 主な発言等

<p>立崎減量推進係長</p> <p>渡辺会長</p>	<p>合に搬入の上、焼却処理を行っているが、株式会社yuniが推進する布団の回収・再生サービス、sustebの実証実験に際し、市が回収した寝具等を提供することにした。</p> <p>sustebとは、使わなくなった寝具から羽毛や綿などを取り出して布団を再生する技術で、分解、裁断し、再生素材であるサステブファイバーをつくることで、新たな寝具や衣料品に再生させるサーキュラーエコノミーを実現するブランドとなっている。</p> <p>この取組は、寝具等の新たな処理方策の確立に一定の貢献を果たすことができることに加え、将来的には浅川清流環境組合での処理量の削減につながるものと考えている。</p> <p>実証実験の期間は令和5年11月から令和6年2月までを予定しており、その成果等については、令和5年度中の公表に向けて整備されるものと伺っている。今後、成果、進展等があった際は、当審議会にて報告をさせていただく。</p> <p>(「令和6年度ごみ・リサイクルカレンダー表紙絵の決定」について説明)</p> <p>それでは、以上をもって審議会を終了する。</p>
-----------------------------	--